

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP) for Promoting International Education

私たちの暮らす街 中部
～地域を愛し、地域とともに生きる～

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校では、これまでも本市民にとってゆかりの深い「豊川」との関わりや、地域の施設や産業を中心として、環境保全や資源のリサイクルを地域とともに展開するなど、地域に根ざした教育活動を実践してきた。そこで、さらに地域とともに地域から学ぶ持続可能な社会づくりの担い手を育む教育（E S D）を推進しようと考えた。

中部中学校には、自然環境との関係性を認識し、「関わり」「つながり」を尊重できる生徒を育むという教育理念がある。豊橋の中心部に位置しているが、校区内には多くの公園が存在し、また豊川から取水される牟呂用水が正門前を流れている。こうした地域の環境を守るため、全学年で地域に飛び出し、地域全体を学校生徒全員で掃除をするクリーンアップ作戦という行事を行ってきた。この活動は、地域に愛着をもつ生徒、地域を大切にしたい生徒の育成を目指して行われている。教員はもちろん、保護者、地域の方たちの支援もあり、最近では地域全体で街をきれいにしてこうという思いも生まれている。また、人間関係が希薄といわれる中で、校区に暮らす人の安全、防災・減災を考え、校区を大切にしていこうとする機運も生まれている。

このことを「持続可能な開発のための教育」（E S D）の推進に結び付けていくために、これまでの教育課程をもう一度見直し、総合的な学習の時間を中心として、校区への情報発信活動（生徒会活動・委員会活動）も加味した実践を進めていくことにした。この実践に継続的に取り組むことにより、生徒が将来にわたって地域のよさに気づき、地域に愛着をもち、大切にしていこうとする心を育てていけると考えている。

Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、E S Dへの取り組みの入口を環境保全の立場からとする。なぜならば、地域を流れる「豊川」があり、その環境に触れる活動や行事をこれまで継続して実施しており、そのことを中心として、地域の環境保全や資源のリサイクルを行ってきたからである。これらの活動を通して校区の方とともに中部中校区の環境を、ひいては豊橋市の環境を守ろうとする子を育てていきたい。

そのために本校では、以下の5つの活動で次のような目標を掲げる。

(1) 「豊川」の環境に触れる活動

- ・TBW（豊川 BIG WALK）

本年度の実施で34回目を迎える本校の伝統行事であり、「豊川」に寄り添い歩き、牛川の渡しも体験し、その環境・文化に触れることで、環境保全への意識を高める。また、自然に対する畏敬の念とともに、自然に親しむ心を育てる。

(2) 地域の環境保全をする活動

- ・「クリーンアップ作戦」

地域住民としての意識の向上と、勤労奉仕の精神を育む。

- ・年2回の「530運動」

地域全体の環境美化や地域への所属感の向上につなげる。

- ・健全育成会と連携した「落書き消し隊」

よりきれいな町にしようという意識をもたせ、地域への愛着がもてるようにする。

(3) さまざまな回収活動

- ・ 常時活動として行う「ペットボトルキャップ、空き缶回収」
地球上の様々な問題の例として、貧困に苦しむ人々のことを理解し、身近なところから活動に取り組むことで、生命尊重や国際理解の精神を育むことを目指す。
- ・ 年2回実施の「勤労体験学習」（資源回収）
資源のリサイクル意識の向上につなげるとともに、保護者やPTA、地域の人たちとかかわり、つながっていく姿勢を養うことを目指す。

(4) 校区を愛し、防災・減災を考える活動

- ・ 1年生の総合学習、健全育成会「住みよい校区にするための標語」募集・選定など
地域での防災・減災を考え、将来にわたる街づくりや校区への愛着心を育む。

(5) 行事等と関連づけた活動

- ・ 体育祭、文化祭、授業参観、健全育成会を中心としたあいさつ運動など
地域への誇りや愛着心を育み、人とかかわりを重視していく姿勢を養う。

Execution (プロジェクトの実施)

(e.g. through a specially designed course, through an existing course(s) or as an extracurricular activity)

「持続可能な開発のための教育」(ESD)を進めていくことにより、街の発展と環境の関連性、人のつながりや社会の一員としての価値観を見出し、共有する基礎的な能力を養うことができると考えている。また、それは持続可能な社会づくりの担い手を育てる教育にほかならないととらえている。

(1) 「豊川」の環境に触れる活動

- ・ 豊川沿いを歩き、資源としての豊川の有用性を感じさせる。
- ・ 牛川の渡しを利用して、豊川を感じながら対岸に移動する。
- ・ 保護者、地域の人とかかわりの中で、社会の一員としての価値観を見出す。

(2) 地域の環境保全をする活動

- ・ 「クリーンアップ作戦」は、地域にある公園や豊川から取水される牟呂用水を全校生徒で清掃する活動である。
- ・ 「530運動」は、環境美化委員会を中心に年2回行う。登校時に地域のゴミを拾う。道路だけでなく、公園に出向き、拾ってくる生徒もいる。全校での活動で、意識の高い生徒では、軍手をはめて、ゴミ袋いっぱいゴミを拾ってくる。
- ・ 「落書き消し隊」は、一部の生徒で構成され、地域に飛び出し、落書きをスプレーや特殊な工具を使って消すという活動をしている。

(3) さまざまな回収活動

- ・ 「ペットボトルキャップ、空き缶回収」
ボランティア委員会を中心に「ペットボトルキャップ、空き缶」の回収活動をし、それをワクチン購入資金とする活動を行う。本年度は、11,000個あまりの回収ができ、およそ100人分のワクチン購入資金とすることができた。
- ・ 「勤労体験学習」
全校生徒が、校区の全世帯に回収を呼びかけるチラシを配布し、新聞、雑誌、段ボールを回収する。

(4) 校区を愛し、防災・減災を考える活動

- ・ 1年生の総合学習で地域の防災マップを作成する。
- ・ 健全育成会「住みよい校区にするための標語」を全校・校区に募り、選定・表彰する。

(5) 行事等と関連づけた活動

- ・ 文化祭ではPTA作品や生徒作品を中心とした作品展を開き、地域との交流をはかる。
- ・ 健全育成会の方と連携し、朝のあいさつ運動を行う。

○活動を進めるためのESDアクティビティプログラム

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
行事		53 0運 動	勤労 体験 学習				53 0運 動	クリー ンアッ プ作戦	勤労 体験 学習			T B W
防災	<1年 防災マップをつくろう>						<住みよい校区にするための標語募集>					
常時 活動	ペットボトルキャップ集め →											
	空き缶回収 →											

(1) 「豊川」の環境に触れる活動



○「牛川の渡し」に乗って対岸へ



○豊川沿いを歩き、豊川の環境に触れる

(2) 地域の環境保全をする活動



○拾い集めたゴミを学校で分別回収する



○健全育成会と連携した落書き消し隊

(3) さまざまな回収活動



○ペットボトルキャップ回収箱



○各家庭から資源を回収

(4) 校区を愛し、防災・減災を考える活動

(5) 行事等と関連づけた活動



○校区に出向き防災マップを作成



○健全育成会と協力してあいさつ運動

Type of materials to be used (使用する教材)

「明るい人生」 昭和 33 年度創刊 平成 21 年度改訂 編集：愛知県小中学校長会

発行：愛知県教育振興会

防災教材「チャレンジ！防災48」 総務省消防庁国民保護・防災部防災課

平成 22 年 3 月

Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

生徒の理解と姿勢の評価は、以下のように行う。

- ・生徒のさまざまな活動への取り組みの成果を事後のまとめや感想、発表から把握する。
- ・学習や活動のまとめとしての授業参観や作品展示会、行事等での成果の発表、意欲や態度を観察し評価する。
- ・防災マップ、「住みよい校区にするための標語」から評価する。

上記の評価とともに、さらに下記のことを実施して、ESD活動のさらなる充実を図る。

- ・活動後の「アンケート」や7月と12月の「学校評価アンケート」、さらには「モニター会議」などにより、「地域学習の有効性」、「地域への誇りと愛着についての意識変化」等の項目について尋ねるアンケートを保護者、生徒、教職員を対象に実施する。また、その結果を学校評議員に伝え、アドバイスをいただく機会を年2回設ける。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))

Position, (役職) Principal

Institution's name (学校名)

Chubu junior high school